

# 12月臨時教育委員会会議録

開催年月日	平成26年12月18日(木)
開催日時	午後3時00分
開催場所	市役所別館 3階会議室
出席委員	委員長 永山 真江 委員 末次 徳嘉 委員 田島 みき 委員長職務代理者 諫本 憲司 教育長 三笥 眞治郎
出席参与	教育次長 高倉 謙市 学校教育課長 江嶋 久典 文化財保護課長 財津 俊一 咸宜園教育研究センター長 池田 寿生 兼 世界遺産推進室長 人権・同和教育室長 森田 寿美香 教育総務課長 佐藤 公明 社会教育課長 田中 孝明 博物館長 河津 美広 淡窓図書館長 池永 晃 学校給食課長 財津 光和
書記	教育総務課 総務企画係長 福井 龍太郎
附託議案	協議事項 平成26年度日田市教育懇談会のまとめについて

永山委員長	<p>(委員長あいさつ)</p> <p>それでは、協議事項に入ります。平成26年度日田市教育懇談会のまとめについて、事務局からお願いします。</p>
教育総務課長	<p>教育総務課でございます。協議事項、平成26年度日田市教育懇談会のまとめについてでございます。</p> <p>お配りをいたしております別冊の資料をお願いいたします。</p> <p>まず、表紙をめくっていただきまして、今年度の教育懇談会まとめということで、A4サイズのカラー刷りの資料をおつけいたしております。</p> <p>まず、この説明なんです、先月の定例教育委員会でもほぼ同じ説明となりますけれども、再度説明をさせていただきたいです。</p> <p>まず、参加者です。全体で230名の方に参加をいただいたところです。内訳といたしましては、ここにあります自治会50名、保護者121名、それから地域の方、一般の方59名でございました。それぞれの会場ごとの内訳は表のとおりでございます。</p> <p>続いて、2番目、意見の内訳といたしまして、分野別のまとめをいたしたところでございます。</p> <p>分類AからFまでということを見ていただきますと、A、学校教育の分野で91件、以下、こういった内訳となっております。合わせて、111件の御意見等をいただいた結果でございます。</p> <p>さらに、それぞれの分類ごとの小項目でこの表であらわしております。多いほうから順にということで並びをさせていただいておりますので、分類別では、少し飛んだところもございます。</p> <p>これを見ていただきますと、学校教育の分野91件の中で、やはり一番多かった項目といたしましては、学校施設、いわゆるグラウンド、プール、体育館ほかでございますが、の整備についての御意見、合わせて20件。以下、中学校の部活動についても10件と、これも多うございました。通学路の安全対策については9件、校区外の通学についても5件ということ。そして、1つ飛ばして、中学校の統廃合についても5件ほど御意見をいただいたところでございます。</p> <p>以下、こういった内訳、合わせて111件の結果でございました。</p> <p>ちなみに、③で質問別ということで、111件の内訳を見ますと、やはり保護者の方が一番多かったということの結果でございます。</p>

それでは、続いて別冊、ホッチキスでとめております資料、これが先月の定例教育委員会におきまして配付をさしていただいた中学校の校区別という資料を、本日については再度項目別に再編集をさせていただいたものでございます。なお、表現を一部適正な表現に修正した部分もございます。

まず、資料の説明をさせていただきますが、表紙を開いていただいて、1ページから2ページにかけて、全7会場別の参加者などの状況をまとめたものでございます。

続く3ページを見ていただきますと、先ほどと項目がダブってまいりますけれども、項目別に整理した目次でございます。

まず、順番といたしましては、ナンバー1からナンバー27までについてが学校教育分野でございます。続く28から33が社会教育という分類でございます。続く34と35につきましては文化財保護、ナンバー36、学校給食、ナンバー37、人権同和教育、ナンバー38以降については、その他、行政一般という御意見、こういった分類でございます。ここに合計はございませんけれども、合わせて111件の意見数でございます。

続く4ページからは本分になりますけれども、各項目別に左2列目から項目名、そして内容、中学校区、担当課、回答と編集をいたしております。

この全般的な内容については、先月の資料を差し上げたところで御確認を少しいただいているというふうに考えておりますので、本日については、その回答の方向性など、そういったことに関する御意見をいただければと考えております。

次に、今年度の懇談会におきましては、本年2月に東有田中学校の適正規模を考える会から報告をいただいた経過がございましたので、会に参加の皆さんから広く御意見をいただく一つのテーマとして、教育環境の整備についてを取り上げさせていただきました。

その結果、幾つかの会場におきましては、子供の数が少なくなる中で、学校の適正規模に関する市教委の考え方、それから中学校の統廃合の方向性の御質問はございましたけれども、すぐに中学校を統合してほしいなど直接的な御意見というのは見受けられておりませんで、やはりその根本的な原因は、部活動のあり方、こういったことを不安に思うと。こういったことが原因で起こったというふうに受けとめをさしていただいております。

この関連で申し上げますと、目次のほうで、ナンバー2になります、中学校の部活動。それから、ナンバー10になりますけれども

<p>永山委員長</p>	<p>校区外の通学内容、それから、ナンバー5の中学校の統廃合について、こういった関連が関連項目であるというふうに思っております。合わせて20件でございます。</p> <p>したがって、こういった御意見をいただいた結果、私ども教育委員会としても、部活動に関する何らかの方向性といいますか、そういった協議をさせていただく必要があるかと考えているところでございます。</p> <p>そして、この件に関しましては、本日の会議でいただきました御意見等をまとめさせていただいて、教育委員会としての対策を今後まとめていく作業に入らせていただきたいと思います、その後の対応として進めたい、そういうふうに考えております。</p> <p>簡単でございますが、私からは以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。項目が多岐にわたるんですが、まずはランダムで、その後気になる質問、御意見を出していただきたいと思います。</p> <p>ではまず、項目にかかわらず、気になっているところとか、回答の内容について何か御質問があるところについてお願いします。</p>
<p>田島委員</p>	<p>7ページの学校施設の、五馬中学校区からの分で、プールに関してのことですが、回答のほうに、2行目、「不自由はおかけするとは思いますが、部分的に環境整備は対応させていただきたいと考えております」ということですが、部分的というのがちょっと抽象的過ぎて、質問された方、保護者の方たちは、もう少し具体的な回答があったほうがいいのではないかと思います。今の時点で具体的なことを回答できないということかもしれませんが、その辺はいかなものでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>確かにそういう御指摘かと思います。プールについて、これは保護者の方の御意見だったと思うんですけど、ある程度古くなっていると。それから、場所的なものも問題があるのではないかなという御意見だったというふうに記憶をしております。</p> <p>それで、市内学校のプールについては、全面的にこれから計画を立てて、年次計画で対応をしていく、こういうふうな考え方はやはり基本にあります。そうなりますと、五馬中学校のプールを、ほかの計画に先駆けて前倒しをしてやるというのは、なかなか難しいというような現実がやっぱりありますものですから、例えば、全面的</p>

<p>永山委員長</p>	<p>な改修というよりも、当面对応できる部分があればというニュアンスで回答した記憶がございます。</p> <p>ですので、部分的にとというのが少し、もうちょっと表現ができればというふうには思いますので、これはちょっと検討してみたいと思います。</p> <p>五馬中のこの発言をされた保護者の方が、終わってから私を待っていていらして言われたのが、いつかお伝えしたように、中学校のプールが道路から丸見えであると。それで、恐らく皆さんの前だから言いにくかったのかなと思うんですけど、1回見に来てください、変質者が写真撮り放題ですよ、というのをかなり強い口調で言われました。私も娘がいる立場として、やっぱりそれはいやだろうと思うので、道路を渡っていくというだけでも心配している上に、その授業の様子が外から丸見えというので、それこそ部分的にというのであれば、そういう目隠しなどそんなに予算的に大きなものでなくても対応できるのではないかなとそのとき思っていました。今年の夏が来る前に何か簡単な目隠しとかでも、現地を確認していただいて、校長先生とかにもお聞きいただいて、少しでも目隠しすると保護者の方も安心されると思いますので、確認していただけるとありがたいと思います。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>委員長、先ほど出てきました「学校とよく打ち合わせをした上」でとした表現を考えてみます。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>よろしくお願いします。何かそのほか御意見をお願いします。</p>
<p>田島委員</p>	<p>今のことです、すみません。教育総務課長と学校訪問のときに、諫本委員と3人でプールのところは確認はしております。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>ありがとうございます。そうなんです、見てくださいとやっぱり保護者の方はおっしゃるんです。1回昼間に来て見てくださいと。グラウンド整備でもそうですけど、津江の方も、雨が降った後に来てくださいよと言われて、本当にすぐ次の日に私見に行ったんですけど、毎日見ている保護者の方の切実な声というのもすごくよくわかりますし、それにすぐ応えることができないそのジレンマもあるので、何か少しでも、まずはここに取り組んでみてというのをお伝えできると、きっと安心されると思うので、この回答が具体的に</p>

<p>諫 本 委 員</p>	<p>ると、きっと少しでも安心のなされようがふえるのかなと思いました。今後、そういう意見もお願いします。</p> <p>36番の給食のメニュー構成についてというところで、内容について、見直してもらいたいという話と、変えようとかいろいろ考えながら、栄養士さんと協議しながら改善するように努力していきますという回答をそのときにもらっていたので、とりあえず、その回答はそれでよかったとは思いますが、最近食育という言葉も含めて、和食の文化的な面とか、内容の高さとか、いろいろ見直されて、そういう期待とかも多分保護者の方には多いと思うのです。</p> <p>ですから、その点とかもかなりレベルの高い要求とかいうのが多分なされているのではないかなと思いますけれども、ちょっとでも近づけるような改善というか、栄養士さんとかの協議とかいうのをそこまで求めたいという要望があるということをご伝えてもらって、できるだけいい調整ができればと思うのですけれども、その辺をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>学校給食課長</p>	<p>御存じと思ひますけれども、市には5つの共同調理場があります。一番大きいのが旧日田市の調理場、給食センターと呼んでいますが、大体5,400食ぐらいつくっております。</p> <p>それから前津江、大山、上津江、上津江は小中学校が一緒になり新しく中学校に改築させてもらひ、もう一つは天瀬にあります。</p> <p>今回は、大山の懇談会でそういう質問がございまして、去年の大山給食の運営協議会のときに、そういう質問が出ていたと聞いております。地元の食材とか、食育とか、委員がおっしゃられたような観点での話と思っております。</p> <p>ただ、ここにも書いてございすけれども、それぞれの保護者の御意見で、やっぱり牛乳があったほうがいいとか、それから、パンが好きな子は、あのおときお答えしたようなとおりでございます。実は、先般、大山小学校の2年生に学校がアンケートをしたのですが、一応その回答を今日たまたま見たのですが、ある保護者からは、家で牛乳を飲まないが、必ず給食で飲ませてくれるのが非常にいいとか、副食の味がちょっと薄いとか、もう千差万別でございますね。</p> <p>懇談会でお答えしましたとおり、カルシウムとか、その他の栄養でも非常に牛乳がいいわけで、それで、和食も悪くはないわけです</p>

	<p>けども、和食が好きな子もいれば、洋食が好きな子もいるというところで、栄養士が頑張って献立を考えて料理をつくっていただいておりますので、今回もそういう要望が出たということで、もうこれは当然すぐ伝えてありますので、検討されていると思います。</p> <p>また、例えば、前津江とかは、やっぱり地元ヤマメの養殖場があるものですから、ヤマメのから揚げとか、そして、大山はやっぱり梅が有名なので、鶏の梅みそ焼きとかいうのをやっています。そういうふうな状況でございます。</p> <p>それと、提供する食数が施設によって違います。大山は調理をよくやっただいておられると思うので、今のお話を栄養士に十分に伝えて、今後とも対応していきたいとおもっています。どうか、よろしくお願いたします。</p>
永山委員長	<p>ありがとうございます。給食のことで私もつけ加えますと、この間、学校訪問で津江小中学校の給食に私たちもお邪魔させていただきました。生徒さんの間に混ざって給食を食べて、生徒さんがものすごく給食を楽しみにしていました。前に座った男の子が「きょうはラッキーですよ」と言うから「どうして」と聞いたら、「きょうは人気メニューのグラタンです」と言って、すごいみんなにここして給食を食べて、もちろん中学生の子はおかわりとかもしていました。</p>
学校給食課長	<p>今日も、津江へ行ってきたんですよ。雪がありましたけども。そしたら、ハンバーグなんかも、もう全部手づくりです。非常に、今おっしゃったようにうらやましい。もう見てのとおりでございます。安心・安全で、地域でとれたものを地域で消化することから見れば、いいかなと思います。今おっしゃったように、うらやましいというのはあります。</p> <p>それから、誤解のないように申し上げますが、津江調理場ですが、学校が2つありますので、校長先生2人いますから、一応あそこも共同調理場です。一校一調理場ではありませんので自校式ではございません。</p>
永山委員長	<p>そうですね。2校を共同でつくる。</p>
学校給食課長	<p>あそこの1カ所で2校に配給している。たまたま横にあるというふうに御理解していただきたいなと思います。</p>

<p>永山委員長</p>	<p>学校のすぐ横にあって車で運ばないから、自校式と思われている方がいらっしゃるんですけど、決してそうではありません。</p> <p>また、栄養士の方は、田市内全部、県職でございます。</p>
<p>田島委員</p>	<p>わかりました。では、そのほかで御意見、何かありませんか。お願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>23番、27ページですが、こちら、特別支援連携協議会というのがあるとのことではありますが、今回、学校訪問をさせていただきまして、特別支援のクラスですとか、保健室登校の生徒さんがいらっしゃる、その現場を目の当たりにさせていただきまして、学校の先生たち、関係者の方たちは大変御苦勞をされているんだなという感想です。</p> <p>で、やはり特別支援が必要なお子さんたちは、幼稚園のころからやはり支援が必要だったということが多々あるんだと思いますので、やはりそういった縦の連携というところを、各地区なり各学校なりで情報を縦に動かし、手厚い支援をしていただけるよう、本当にここに書いてありますが、市全体で検討していただきたいなと本当に強く思いました。</p> <p>まず、学校教育課が、事務局となって、これまで、今御意見のあったような縦の連携組織というのが、そこそこの部局で行うものに、それぞれの部局から参加するような形がありましたので、まず、学校教育で事務局を持って、関係機関、もちろん市の担当部局も含めて連携を図っていこうということで始めました。</p> <p>今、日田市全体ということで考えていますけれども、実際に、御意見のとおり、学校現場を見てみますと、それぞれの学校区とか、それぞれの地域でこういった定期的な今後を見据えた、将来を見据えた取り組みが必要ではないかという御意見だったと思いますので、この連携協議会の中で、少しそういうふうに関係機関の状況等も出し合いながら、今後の方向性等についても少し議題に持っていこうかなと思いました。</p> <p>つけ加えですけれども、小学校と幼保との接続の部分については、それぞれお互いに先生方のいわゆる情報交換とか、そういったことは毎年度必ず行ってはおります。ただ、特別支援連携協議会でつくったような支援ファイル、例えば5歳児からのとかについて、そういったところの中でどう取り上げられているかというところに</p>

	<p>については、詳細には把握はしておりませんので、連携協議会と今行っているような連携、少し間を埋めるようなところがないかという見方もしてまいりたいと思います。</p>
永山委員長	<p>そのほかありませんか。</p>
末次委員	<p>津江の小・中学校のプールの藻の発生についてですが、排水を検討、改善、そのことによって、この藻の発生が解消されると思いますので、検討してまいりますという回答になっているわけです。</p> <p>これを、シーズン前、来年の例えば6月までとか、スケジュールを示すことは難しいことなんですか。状況を見たいということですか。</p>
教育総務課長	<p>「検討してまいります」で終わると、御心配なさる面があるかとも思います。実際は、私どもは、今年度の予算ではなかなか難しいですので、来シーズンですので、平成27年度に入りまして新年度予算で何らかの対応をしなければならないとは考えておりました。</p> <p>そういったことで、少し表現を変えさせていただきます。</p>
末次委員	<p>藻の発生というのは、プールの使用の根幹にかかってきます。その事を受け止めていかなければならないじゃないかなと思いますので、これは踏み込んだほうがいいんじゃないかなと思います。</p>
教育総務課長	<p>委員長、続けてよろしいですか。御意見のありましたこのプールについては、津江の小学校と中学校、いわゆる中学校のプールを小学生が使えるように少し改造をしたプールでございます。私が、このあと報告を受けておりますのは、その段差をつけることによって、少し排水の具合が、状況が変わったという内容でございます。そのことが少し原因であるのではないかというところまでは聞いておりますので、その改善策が何かきちんとしたものが対応できるかどうかも含めて、少し年次を表現するような格好でございます。</p>
末次委員	<p>それと、もう一件ですが、光岡小学校の体育館工事の関係が7ページに出ています。これは地震が起きたときに落下する危険性があるからということで、国の行政指導を示しておられるんですね。</p> <p>最後の結びが、光岡小学校にも吊り天井があるため、来年度以降に天井の撤去とあわせて大規模な改修を考えていますということ</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>で。この落下について保護者の方はどんな捉え方をするかと。これも、具体的に実施計画を検討されておれば、ここも踏み込むべきじゃないかと。いずれにしても国の財源対策を見極めながら中長期であっても何か説明的な回答をすべきと思いますが。</p> <p>7ページの光岡小学校の体育館の件でございますけど、保護者の方、地域の方だったかと思うんですけども、体育館の予定についてということでお尋ねがありました。</p> <p>この時点で、私どもが捉えておりますのは、ここに書いておりますとおり、基本的には全面改築は考えておりませんという中で、まず、この非構造部材といわれる、吊り天井、これが該当となる吊り天井形式というのがありましたので、まず、これを撤去しないといけないというものです。あわせて、化粧直しといいますか、トイレ、外壁、屋根とかを含めた大規模改修を行う予定ですよという回答をお答えさせていただいたんですけど、今、末次委員から御意見をいただきました施行年次については、なかなか大きな予算を伴うという考え方がございますので、この中でも、今時点でお返しする中では、ちょっと明記ができないという状況も実は正直ございます。</p> <p>ただ、実際に予定しており5年先、10年先とかいう話ではないのは確かというふうに思っております。</p>
<p>末次委員</p>	<p>繰り返して申し訳ないのですが、吊り天井を撤去しながら体育館の改修を行う計画で考えていますということで、まだまだ先のことかなというふうに、表現がされています。要は、国の指導とその財源対策を見極めながら検討していくということですか。</p>
<p>教育次長</p>	<p>ちょっと私のほうから。今のお話、確かにそうなんです。で、一つ、国のほうの指導では、平成27年度までに対策を終えるようにというような、そういう指導もございまして、それに沿った対応をやっていきたいと、そういった形ならいいですよ。具体的に何年というのがまだ申し上げられないところはあるんですけども、国のそういった指導的なものがありますので、それに沿った対応ということであれば、少し先が見えるかなというような気はいたしますので。</p>
<p>末次委員</p>	<p>いずれにしましても、全体的に改善しますとか、検討しますとかいう結びが多々あります。当然予算的な事もあると思いますが、緊</p>

<p>永山委員長</p>	<p>急性の有無など考慮し、優先順位を整理し受けとめて、的確な対応されてほしいなと思います。以上です。</p> <p>それで言えば、たしか五馬の方と思うんですけど、いつも言っても後回しにされる。いつも何もしてくれないじゃないかみたいな言い方をされたのは五馬だったと思いますが、違いましたかね。</p> <p>(「ありましたね」の声あり)</p> <p>ありましたよね。五馬の方が、仕事で咸宜の所を通ったら、ずっと何かあちこち工事をしてて、あの一部分でも五馬でしてくれたらいいのみたいな感じで、保護者の方がおっしゃって、多分、その6ページのテニスコートのところにも出てますけど、順番はいつ回ってくるというのが保護者の方の一番の本音だと思います。何年にしようよこの場で言えないんですが、何かここ辺悪いところがあるから、待ってくださいと言うよりも、例えば、国からこういう指導があるから、こういう順番でしていますとか、何かイメージを持ったり、安心できる材料が一つでもふえると、保護者の方は違うのかなと、思います。何か切実な声がたくさん聞けたような気がして、道路だとかもそうですけど、広くなると言ったのに、何か聞いたら、予算がないと言われた、多分いろんなことは、みんな違う原因があるんだけど、何か旧郡部は後回しでしようと思われてしまうことがすごく悲しい思いです。できないんだけど、何かこのことについてはこのぐらいの時点で、もう少しお待ちくださいとかという回答の中に少しでも安心材料がふえるとありがたいなと、同じ保護者としては思いました。それは、回答をまた考えてからで結構ですから、ホームページに載せるとか。そのほかありませんか。</p> <p>もし思い出したらまた言っていただくとして、ちょっと別の項目で伺いたいと思うのが、この8ページから、中学校の部活動についてかなりたくさんの御意見をいただいています。ここに載っているだけでも五馬、大山、北中、東有田でも出ていたかと思いますが、これはまた別に校区外通学のところで出たんですかね。そちらも含めてになるので、ちょっと広いんですが、この部活動のことについては少し腰を据えてというか、何か教育委員会がこれは何とかしたい、少しでも何かいい方向に行けないかなという意見がありますので、ここで部活動について御意見をいただけますか。皆さん、お願いします。</p>
<p>諫本委員</p>	<p>部活についての意見は、ここに載っているのもあるし、ほかの項</p>

	<p>目でも出てきますけれども、周辺部の中学校、地域で出てるのが、やはり人数が少ないから、やりたいスポーツができない。やれるところに行きたいとか、いろんな思いなんですけど、要は、その学校単位で解決ができない問題なので、それが周辺部のほとんどの中学校に起きているという状況なので、一つの学校で施設のこととか、何かのことで通学路とか、解決できることはいいんでしょうけど、こればかりは、そこだけでできないので、やはり教育委員会としてお手伝いをして、何らかの改善をしていく必要があるんだろうというふう感じはしました。</p> <p>周辺部の中学校とすれば、学校の存続が地域の過疎とかという問題とも絡むし、通学路、統廃合の問題とか、いろんな部分に多岐にわたってくると思うんですけども、課題だけ見ても、そのスポーツの話、スポーツと文化部のこともあるかもしれませんし、学校の部活の意味合いと、それから、例えばクラブチームというような社会体育的なことの位置づけとか、地域によって、そのときの人によって、どの種目を望むとか、いろんな内容等がこの中には含まれると思います。いずれにしても、できるだけ広い選択肢があるように早急に改善していく必要があるなとは思っています。</p>
教 育 長	<p>今回、懇談会を開催した学校は中学校は12校あるうちの生徒数でいえば100人か、それぐらいの学校ということで、大変生徒数の減少による学校のクリエイティブが非常に困難になってきて、生徒の、子供たちの希望に沿えないというような例がたくさんありまして、今、諫本委員がおっしゃったとおりなんですけども、少し学校の部活動というものがどういう位置づけをされているのかということ等について、文科省から通知などがありますので、そういった学校教育課のほうから少し説明をさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。</p>
学校 教育 課 長	<p>中学校の学習指導要領というものがございまして、その中に記載があります。以前は、部活動の位置づけが非常に不明瞭な点もあったんですけども、現行の学習指導要領の中に、学校の部活動というのは、このように書かれてあります。「生徒の自主性、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として教育課程との関連が図れるよう留意すること」。この中の学校教育の一環というように明確にこの言葉</p>

<p>永 山 委 員 長</p>	<p>が盛り込まれたことから、これまで不明瞭だった点が完全に学校教育活動の中に入ってきたということで捉えられております。</p> <p>その中で、今、御意見があったような問題が出てきているということになります。</p> <p>ただ、これについては、もちろんその後に、この部活動関係の回答の中にも入れたんですけれども、地域や学校の実態に応じて、地域の方々の協力、社会教育施設、社会教育関係団体、各種団体との連携、運営上の工夫はしっかりやってくださいということがつけ加えられております。</p> <p>質問です。その運営上の工夫の中には、例えば、そうやって違う学校とチームをつくって、中体連に参加ということが許されるものなんですか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>そこで、大分県中学校体育連盟のほうで、複数校合同チームの大会参加についてということで、編成規程等を設けております。ですから、今それに則って、県内の他の市町村でも合同部活で参加しているケースがあります。</p> <p>本市においても、24年度の新人戦から合同部活動が積極的に組まれるようになってきたという経緯があります。今年度についても、中体連、それから秋の新人戦について、合同部活動での参加がございました。種目を申し上げますと、今年度も男子バレー、軟式野球、女子バレー、以上が合同チームを組んで大会に参加したということになります。</p>
<p>永 山 委 員 長</p>	<p>多分、これまでは大明と大山がたしか合同でというのがありました。そのほかにも、もう実践例があるんですか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>24年度からそのほかにもあります。特にずっと続いてきているのが、男子バレーの前津江中、東有田中とか、ところが、翌年度になったときには、男子バレーは同じくですけれども、前津江中と今度は東部中で組んだりとかいったようなことが行われて、お互いに、言い方はちょっとおかしいですが、相手を見つけて組めるところ、お互いに組みたいところで組んでいるというような形で今はやっています。</p>
<p>末 次 委 員</p>	<p>2点ほど。部活動の事ですが、部活動種目を含め学校が主体的に</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>組み立てていくという現行制度になっていますね。しかし、生徒数の減少によって各学校とも部活動の充実に向けてなかなか絵が描けず苦勞されている現状ですが、今後も学校が主体的に絵を描いてくださいということで行かれるのかということが1点です。</p> <p>もう一点は、昨年の懇談会で大山と大明でチームをつくって大会に参加とお聞きしました。大変参考になりました。しかし、今は一貫校と言っても、スタート時ですから9年制という位置づけがまだ本当の意味で確立されていない気がしますが、本来は一貫校として5年生、6年生も部活動をさせる、そういう絵が描けますかということです。今、一貫校であっても、小と中、校長先生方お2人でいろいろ工夫しながら取り組んでいるわけですが、一貫校としての地域との結びつきからいくと、体力差があっても5年生ぐらいからすれば、1チームとして編成が可能かもわかりません検討することも。</p> <p>ただ、心配なのは、5年生、6年生に体力で中学校あたりのハードな種目があったときに、それに体力的についていけるかという問題もまた考えていかなければならないし、5年生と6年生は部活動は上級生と一緒にして、日々の部活動の練習の中で体力をつけていって、7年生になったときには大会に出る、そういう育成のスケジュールの絵が描けてくるかもわかりませんですね。だから、一貫校としての5年生、6年生を活動させて人員を確保して部活動に踏み込んだ場合に、問題点がありやなしやというか。例えば、中体連で小学校5年、6年の人をチームに加えたときには、中体連の大会はやはり危険性があるから無理ですよという指導が入ってくるのか、もろもろ問題あるとは思いますが、お考えをお聞かせください。</p> <p>要は、2点目の今後の考え方なんですけれども、今、諫本委員も含めて御意見をいただいたように、学校長の権限の範囲内で学校の教育活動というふうに明確に位置づけられたのであれば、学校長の権限で本当はこれというように決めてもいいものと思っております。</p> <p>ただ、昔から、今までと違って、個人のニーズというのが非常に多様化してきているので、本当にそれに応えなくてよいかというところが今、課題になっていると思います。</p> <p>ですので、これまでと同じように学校と保護者で考えていってくださいということだけでも、今、非常に学校が困っているというこ</p>
---------------	--

とが、今度の教育懇談会で明らかになったと聞いていますので、その後、私たち事務局になると思いますので、少し検討もいたしまして、もちろん教育長にも御相談申し上げながら検討もしまして、やはりこのことについては、今後の取り組み方について検討する会をつくっていったほうがいだろうということで御指示もいただきました。

それで、実は、11月の上旬に第1回目を開こうと計画してたんですけれども、御存じのように、ちょっと10月はいろいろほかの対応で時間をとられてしまいましたので、ちょっとスケジュールが遅れているんですけれども、2段階を考えておまして、まず、第1段階目としては、中体連の組織がありますので、中体連の校長先生、それから教員で役員がおりますから、まずは、その少人数の中で今後の大きな方向性について御意見を聞いてみるというような会を持とうと思っています。

その後、その検討委員会を少し広げて、拡大検討委員会という形で、関係校の学校長、それから部活動主任、それから我々の事務局ということでメンバーを増やして、具体的に関係のある学校を全部集めて御意見を聞いてみようというようなところまで考えておったところでございます。

この関係のある学校というのは、教育懇談会で今回実施した地域だけではなくて、市内4中学校を除いた中学校8校、つまり、戸山中、それから東有田、大明中から、いわゆる旧校区の5校、この8校で拡大検討委員会で今の現状から今後の方向性についてまで、第1回目として現状を出し合いながら御意見を伺ってみようかと思っております。

その中で、教育懇談会でいただいたような御意見も紹介しながら、どういったことが考えられて、できそうかということについて少し話を進めてまいりたいというふうに考えております。

それから、2点目として、一貫校における小学生からの問題なんですけど、ちょっと記憶が定かではないんですが、去年の教育懇談会の場であったかどうか、ちょっと記憶にないんですが、私、そのことについて御質問をいただいて、はっきりお答えをしたのは記憶にあります。学校の教育活動の一環、つまり教育課程との関連性というのがありますので、小学生には部活動という位置づけはありませんから、これはやはり学校で取り組むというのは、できないんじゃないかとお答えを一旦はいたしました。

やはり小学生の場合は地域スポーツ、社会スポーツ、少年スポー

<p>末次委員</p>	<p>ツという枠組みの中で取り組みをしながら、その場所とか、やり方とかいうのは、やっぱりそこは、今、末次委員がおっしゃっているのはそういうことも含めてだろうというふうに思っているんですが、やり方はいろいろ考えられると思うんですが、あくまで部活動は部活動、社会スポーツは社会スポーツというような位置づけがまだ必要な。なぜかという、今、教育課程のことだけではなくて、その後の大会参加とかいうところにも、やっぱりどうしてもつながってくるようなところでもありますので、2点目については、教育課程上からもちょっと難しいんじゃないかなと思っているところでございます。</p> <p>それから、1点補足なんですけれども、今回、地域には入ってなかったんですが、前津江小中学校については、学校独自で今後の部活動のあり方についての検討を年度当初から進めておりました。</p> <p>そのことについて校長先生から報告もいただいております。28年度に向けて、このような形がいいのではないかということで、小学校との連携も図りながら、保護者の方も交えて、方向性がある程度固まってきております。例えば、この部をやめて、新たに個人種目としてのこういう部を1つつくろう。そして、28年度までには、団体種目は、もうこれにしようとか、具体的に言いますと、そこまでもう歩みが進んでおります。</p> <p>ただ、この検討委員会を今後つくっていききたいということについては、当該校には伝えておまして、当然そちらのほうも入っていただいて、学校の実例を出していただきながら、そのことも含めて皆さん方にも聞いていただいて、どうしていくのがいいかというふうな参考にもさしていただこうかというふうに思っております。</p> <p>部活動は必ずしもスポーツだけじゃなくて、文化でもそうですけど、地域と学校とが一体になり、非常に気持ちを一つにします。今後地域の方にいろんな御協力をいただきながら学校が育まれていくということを考えれば、一貫校の部活動のあり方を検討することも一つの選択肢かなという思いがあったものですから。</p> <p>ただ、今おっしゃったように、小学校には部活という位置づけがないこと、制度的に無理はあるかなという思いはあったのですが、公式の大会に参加することだけではなく、小学校5、6年そして7年、8年、9年の人たちと、同じ土俵の中で競い合いながら楽しむというのは、地域の方もある程度支えてくるんじゃないかなという思いもありましてお伺いしました。</p>
-------------	---

<p>学校教育課長</p>	<p>今、最初の御質問にも委員さんのそういった、いわゆる教育課程上の運営の工夫ではなくて、少年スポーツと部活動というのがあって、その接続の部分で運営上の工夫というのが、一貫校であれば何等か考えられる可能性というのはあるかなというふうには思っております。そういったことを含めて御質問をいただいたと思っております。</p>
<p>末次委員長</p>	<p>ぜひ今後企画された検討委員会で先生方にお話しする機会があれば、こういうお尋ねもあったということを目に入れていただだけでも結構だと思います。</p>
<p>諫本委員</p>	<p>意見の中に、教育委員会がガイドラインを示してくれないとみたいな意見もあったと思うんですけども、教育委員会として、こうしなさいということでは当然ないと思うので、やはり広く可能性をわかってもらって、地域の方の実情に沿うようなことに応えられるようにというのが、この委員会の仕事だろうとは思っています。そういう中で検討会とかが進められようとしているのであれば、もうそれはそれでいいと思っています。</p> <p>で、こういう意見があるのはどうしてかと言うと、結局、先ほどの末次委員の意見も全く一緒だと思うんですけど、どういうことができるのか、可能性があるのか、何はできないけど、こういうことだったらできるのかというようなことが知りたいんだろうと思うんです。</p> <p>その中で、自分たちが望むことがどうすればできるのかを含めていきたいというのであろうと思うので、こちらから、こうしなさいということではなくて、その検討会を先生方がまず少人数で進め方とか実情とかを検討されて、次に地域の方とか、保護者の方とか入られて検討していく中で、こういうことならできます、こういう例もあります、これはちょっと無理でしょうみたいなことで、対応していけるのであれば、一番の近道なのかなと思います。</p> <p>もう一つ、ちょっと具体的に、さっき前津江中と東中の話がありましたけど、具体的に、このとき週に何回だとか、どっちがどちらに行つてとか、その移動手段をどうしたとかいうのをちょっと紹介してもらったらありがたいんですけども。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>ちょっと今、詳細にどうだったかというのを明確に間違いなくお答えする資料を持っておりませんので、ただ、大会参加の前には、</p>

<p>諫 本 委 員</p>	<p>当然合同練習とか必要になりますので、土日等を使った合同練習会というのを何回か設けているというのは間違いありません。</p> <p>それから、確か1回とか、2回とかスクールバスの活用とか、そういったことを目的外使用の規定もありますので、そこで確か活用したと思っているんです。</p> <p>いずれにしても、問題になるのが移動手段だとか、どこと何を一緒にやるのかとか、合同チームは出るのか、個別に出るのかということも種目によってはあると思うんですけど、保護者の方の協力を得て移動していくのか。今だと、以前に比べてスクールバスとかありますので、利用可能であれば、可能性がもっと開けてくるので、そういったことの可能性を検討会の中で示していただくといいのかなと思います。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>スクールバスの問題についても、スクールバスの運行のほうの課題等もありますので、そちらはそちらできちっと明確にした上で、説明のときに、御説明できるものについては整理をしてきちっとお伝えをして、それぞれ持ち帰っていただき、また、地域の中で保護者の方等にも説明していただくというような手順でいきたいというふうには思っております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>今、具体的な話が教育委員会から出ているんだけど、これまでの、具体的に言うと、もう戸山中とか、東有田中、大明中の生徒数の減によって対応してきたことは、さっき末次委員がおっしゃったように、学校が主体となって、もう学校独自で、例えば戸山中であれば、野球部がやっぱり人数がたくさん必要だから、個人で結局バトミントンを残すとか、あるいはテニスを残すのか、団体だったら5人でいいバスケを残すとか、そういう方向で保護者と、もうその学校単位で話し合ってきた経緯があるんです。戸山は戸山、大明は大明で。</p> <p>そうすると、どういうことになったかと申しますと、やっぱりどうしても団体種目が休部になったり、廃部になってきた経緯があります。逆に言えば、個人種目がやっぱり残ってきたと。したがって、卓球部なんか、ほとんど学校にあります。で、野球部なんかはどんどん減ってきたわけです。今はもう女子バレーなんかも今まであったのがだんだんもう人数が足りなくなっているという、そういう傾向があると思うんです。</p>

<p>諫 本 委 員</p>	<p>で、ここに来て、やはり旧郡部の津江、大山、前津江と東溪、五馬、そういうところが本当にもう差し迫った状況になっている。したがって、懇談会であのような意見が出されたというふうに認識をしているということですがけれども、やはり末次委員が言ったように、今までと同じような学校単位で考えていくと、もう発想はそういう個人種目の発想しか出てこないと思うので、やっぱり、これからは学校を横断的にというか、合同チームができるという発想のもとで、さっきの検討委員会の学校教育課長の話は、内容的には、学校内部での話のように感じますので、内部は内部でまた学校としてどういうことができるのか、どういう発想があるのかというのも大事だと思うんですけど、この前の懇談会で出た御意見というのは、もう学校を超えて、やっぱり何とかならんだろうかというような御意見があったと思うので、検討委員会を持つのであれば、その組み立てについては、また少し内部ではこういうスケジュールで考えて、そして、保護者や子供の意見も大事ですから、その辺のスケジュール的なこともまたこの場で少し提案をさせていただきながら、実行というか、そういうことがいいのかなというのを私は考えています。</p> <p>ただ、やはり課題としては、やっぱりどういうものがニーズがあって、今どういうところが困っているかだとかです。さっき、諫本委員がおっしゃった、どういうことが可能性としてあるのか、その手段としてどういうことが教育委員会としてフォローできるのかとか、話すことはたくさんあるのかなと思っています。</p> <p>ただ、この前、五馬中でも、もう自分の子供が来年中学生に入るんだ、もう待ったなしだというような御意見もありましたんで、余り長く時間をかけられないなとは思いつつも、慎重にしかも、学校ができること、保護者が子供について横断的な、もっと言えば、社会体育等もやっぱり含めての、もし文化部も含めてそういう検討をしていかないかいけないと思っています。</p> <p>先ほどからの説明だと学校単位で相談をし合って、できることをすぐやる。可能性としてはすぐに話しさえまとまればできるようなこともあると思うんですけども、今、教育長が言われたように、例えばの話ですけど、市内4中学校以外のところを本当に1つのチームとしてやろうとか、練習はそれぞれしながらも、合同練習を挟みながら、そこには幾つかの団体競技とかも入れながらとかいうようなことであったり、割と近い大規模校と一緒に入ってその競</p>
----------------	---

<p>学校教育課長</p>	<p>技をやるとか、考え方はいろいろあると思いますので、いろんな可能性をさぐって、皆さんから意見を出してもらおうのいいだろうと思います。</p> <p>意見交換の柱というのも2本柱で考えておきまして、現在の課題を克服するための方策ということ、それが1つ、それから、日田市として取り組み可能な方策ということで、今までの枠だけにとられない、教育懇談会でやっぱり地域からこういったたくさんの御意見が出たということ踏まえて、解決してまいりたいと思っております。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>今の部活のことなんですけど、今こうやって話しているこの内容を、保護者の方は、今までは、最初からだめだと思っていたと思います。学校を超えてのそういう活動というのはできないだろうという前提での御質問が多かったと思うんです。結局、自分ところの学校にこの部活がないから、よそへ行ってしまった子もいるでしょというような御意見もあったわけで、でも、実際可能性として、こうやって今、話をしているように、具体的などころまではまだ言えないけれども、選択肢がもう少し広がっていくよというのを割と早い段階で言うことはできないんでしょうか。さっきおっしゃった待ったなしというのを、やっぱり本音の話でよく聞くところです。野球をどうしてもしたい子は、東有田から東中に変えようというようなこともあったんです。そういうのを無理な方法をとらなくても、部活の選択肢がこれから今までよりも増えますよというお知らせというのは、どういう段階でできるものなんですか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>私は、この検討委員会である程度そういうことなら可能かもしれないということがない中で、やっていきますよだけでは、ちょっと手探り過ぎるかなというふうな思いがしています。</p> <p>ですので、来年度になってからということでは決してなくて、スケジュール的なものも少し、入り口は考えておりましたけれども、先ほど申し上げたように多少遅れてしまいましたので、3学期の中では、この拡大検討委員会までは持っていけないといけないかなと思っております。</p> <p>確かに、今、委員長がおっしゃったように、我々は合同部活動というのがあるというのは、もう学校は全部わかっているので、保護者の方々は当然知っているものと思ってしまうところがあるかと思</p>

	<p>います。</p> <p>ただ、今回、こういった声が地域、保護者の方から出てきたから初めてわかったことであって、これまではそういったお尋ねがなかったということも、表向きに。ですので、この仕組みのこととかについては、確かに皆さん御存じじゃなかったというふうにとちょっと捉えて直しをしているところでして、まず、基本的にその学校に部活動があるということが前提で合同部活が組まれるというふうな決まりになっていますので、そうなってくると、その学校にどのような部活をつくるかということが、やはり最終的には必要となってきます。</p> <p>だから、そういったところを踏まえると、少し会議を急ぎたいとは思っていますけれども、保護者の皆さん方にそういったことを伝えて、また意見を吸い上げるということになれば、多少時間はかかってくるかなと思っています。</p>
永山委員長	<p>可能性があるとわかるだけでも、うれしい保護者はいると思います。</p>
学校教育課長	<p>ですので、地域で御意見をいただいたことを皆さん方にお伝えをして、そして、こういった会を立ち上げて検討に入ったということをお知らせするのは早くしたほうがいいかなと思っています。</p>
永山委員長	<p>そうですね。ぜひそれをお願いしたいです。</p> <p>それと、ちょっとここでは割とスポーツのことが多いんですけど、この間新聞にも出てましたが、吹奏楽が市内の中学校は1つしかないんです。三隈しかなくて、でも、日田の吹奏楽は実はすごくレベルが高いのに、なぜか中学校だけぽこんと落ち込んでいるんです。</p> <p>そしたら、今度、藤蔭高校が手を挙げてくれて、ジュニアチームをつくってくれたんです。それで、吹奏楽部のない中学生を藤蔭高校のジュニアチームで受け入れて、高校生が指導をしてくれているとか、大きく言えば、社会体育みたいなそういう同じような位置づけなのかなというところも思ったんですけど、あれもすごく新しくありがたいやり方だなと思いました。そういう多分、市の中だけで話し合っていれば思いつかないような方法って、もしかしたらほかにもあるのかなと思って、すごく私は希望の光が見えた記事だったので、何かなるべく広いところから意見をいただけると、また可</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>能性が広がるのかなと思ったところです。</p> <p>ほかに部活のことではありませんか。</p> <p>では、この部活動の検討委員会のその後とか、進捗状況については、また毎月の定例のときなんかにお知らせいただけるものですか。</p> <p>毎月かどうかはわかりませんが、会をする。それから、第1回目はこうでしたということについては御報告をしてみたいと思います。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>わかりました。是非それでお願いします。でも、それだけでも何か一歩進んだ気がして、すごくうれしいので、ぜひできることを探していけたらいいなと思います。</p> <p>部活のことばかり言いましたけど、そのほか何か、これを忘れていたとかということはありませんか。それとか、事務局からこの点についてはというようなことはなかったですか。お願いします。</p>
<p>教育次長</p>	<p>先ほどから部活動の話がかなり出ていますけれども、これと関連して、学校の統廃合の話とか、東有田中学校あたりのこれは校区として話が出ているんですけれども、やっぱり一番目の問題として、その部活動ができない。今、話であったように、やりたい部活動ができないからほかの学校に通っている。これは実質はどうかかわからないんですけれども、そういった御意見がたくさんありますが、ほかの周辺部、五馬中もそうですけれども、まさに当面する問題は、今お話しがあった部活動関係、ここあたりはやっぱり非常に重要な取り組みというんですか、対応が必要だなというふうには考えたところでございます。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>この統廃合の御意見の中にも、部活動のという表現があったんです。東有田からの地元からの御意見の中には、部活動もありましたね。お願いいたします。</p>
<p>教育次長</p>	<p>これの資料の8ページ、これは直接、統廃合の部分ではないんですけれども、8ページの上から3つ目のところですが、これは中学校の部活動についてというお話の中で、五馬中学校のほうから、希望する部活動に入れないから、転校を考えている人も見受けられますというふうにあるんですけれども、たしか、ここにきちっとは出</p>

	<p>てなかったと思うんですけど、そういった子供さんもいらっしゃるみたいで、ちょっとこれは私の勘違いかもしれないんですけども、そういったお話もありましたので、まさに、ここは非常に部活動とそういった直接の統合ではないんですけども、少し通ずるものがあるのなかというふうに受けとめております。多分、部活動の関係は、全て部活動の項目のほうに寄せたところがあるものと思います。</p>
永山委員長	<p>でも、あのとき保護者の方が言われましたよね、はっきり。</p>
教育次長	<p>確かにそういった話もありましたので、ちょっとここの整理の仕方の中で、直接的な項目が部活動で対応すべきものというのが、そういう捉え方もあったもんですから、部活のほうの項目に載せてるということです。</p>
末次委員	<p>ただ、部活動のための統廃合という考え方が先行しますと、誤解されるような気がします。今、江嶋課長から、部活動についての検討委員会で今からいろんな絵を描いていくとの事ですので、すぐ統廃合というような形で結びますと市民の方が誤解と言うと失礼なんですけど、どういう考え方をされるかなという思いがありますですね。</p>
教育次長	<p>済みません、今、末次委員おっしゃるように、本当そのとおりでありまして、ただ、印象として、すごく部活動の印象が強かったもんですから。</p> <p>ただ、この中の東有田中の中に、やはり先生です。結局、クラスがえができる状況じゃなくて、教科担任も全部そろっていませんというそういった御意見もあっておりますので、全て部活動がというわけではありませので、その分は確かにおっしゃるとおりだと思います。</p>
永山委員長	<p>その統廃合についての検討も今からまたしていかなきゃいけない課題とは思いますが、これについては、具体的な何年度までに、例えば、この東有田から実際報告とか、集約結果をお知らせいただいたということに対する回答は、また今後していくものですか。</p>

教育総務課長	<p>地元の方々を含めて、教育委員会の今後の対応につきましては、今年度の7校区の、教育懇談会の実施について、最初の報道の中でも少し考え方は発表させていただいた経緯があります。</p> <p>特に、東有田中学校の単位で考えますと、全般的にそうただけで終わっていいのかという問題が残ってしまいますので、例えば、私どもは事務的なレベルで少し保護者の方々と別な機会を設けて話を持つ必要があると考えております。</p> <p>それと、あわせて、今年度は7校区、いわゆる統廃合の考え方をテーマとして御意見を伺った経緯がありますので、来年5つ残っております中でも同じようにテーマを取り上げさせていただいて、同じような御意見をいただく。その上で、いわゆる統廃合の中学校の再編といいますか、考え方を整理した段階でも、またお伝えができるというような内容では考えておりますので、幾つかそういったことの方策でお伝えしないといけないと、そういうふうを考えております。</p>
諫本委員	<p>統廃合については、特に周辺部です。部活のことも一つの要因ではあるんですけども、それが改善されれば、少し不安を一部取り除くことになるでしょうけど、それにしても、将来の人口減というふうに捉えたときに、ある程度、教育環境が満たされる状況が続くのかといった場合に、それを不安視する方も相当いらっしゃると思うんです。</p> <p>そういう中から、統合を考えてみたらどうかという、するしないではなくて、考えてみたらどうかという意見が多分出ているんだろうと思うんです。</p> <p>ただし、それは大規模校だからいいところと、小規模校だからいいところとあって、その小規模校のよさをわかって、このままがいいという生徒さんも、保護者の方もいらっしゃる。どちらの意見もあると思うんです。</p> <p>ですから、1つ、懇談会についてという意見ではあったんですけども、「懇談会に参加して非常に民主的で、特に保護者や関係者の声を聞きながら考えていくというのは、非常によいことであると思います。しかし、教育は中立性を保たなければならないことから、凜として変えたらいけないことはきちんと持つておくべきではないか」という、勢いで言う意見の方に対して言われた意見がちょっとあったんですけども、必要なことは検討だけすべきだろうということはあると思います。</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>ですから、今、当面、喫緊の課題として統廃合の一部の意味を持った部活動のことをちょっと検討していこうということになります。</p> <p>じゃ、それ以外のことについても皆さんどう思っているとか、先ほど、課長が言われたように、今後の懇談会の中でとか、それを持った話し合いの中でとか、どういうことを望んで、どういう不便があって、どういうよさがあるのかなとかいうような意見を聞いていく方向は持ったほうがいいんじゃないかなと思います。</p> <p>ちょっと、委員長、加えさせてください。</p> <p>東有田中学校の皆様に対する返しといいますか、そういった意味で言いますと、今回の東有田中学校の懇談会に出席の方からも、統合してくれとかいう直接的な意見じゃなくて、適正規模はどう考えますか的な意見が幾つかあったと記憶しております。</p> <p>で、その考え方の中に、いわゆる平成21年1月のこの答申に基づいた考え方で日田市はありますと。あわせて、今後すぐに統廃合を進めていく考え方はないというふうな、そういう現時点の考え方は少し伝えた経緯がありますので、そういった適正規模の考え方、そして、当面の答申に基づく考え方は部分的には、もうお伝えしているかなということはちょっとございましたので、今、つけ加えさせていただきました。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>まとめをどうしたらいいか、難しいんですが、最初にランダムに出していただいた意見は、もうその回答の時点でまた検討していただいたり、ある程度具体的に出せるものは出していただくとかという作業をお願いするということでしょうか。この部活に関しては、また部活と、統廃合に関しては、今後のいろんな議論を進めていくという考えでよろしいですか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>今の問題について、まとめをどうするかということで報告させていただきますと、本日いただきました御意見のうち、文言的な修正については早速私どもでその具体的な表現であるとか、そういったことは工夫をさせていただきと思っております。</p> <p>そして、部活動の部分につきましては、教育長、学校教育課長が申し上げましたとおり、対応として、そういう一部検討委員会等を始めさせていただくということ報告申し上げたい。</p> <p>ただ、この懇談会の回答としての文言的には、一旦ここで、こう</p>

<p>永山委員長</p>	<p>というような回答をさせていただく中で、これからは、そういう動きをしていく的なことで進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>追加で申し上げたいのですが、今後のスケジュールにつきましては、そういった修正を加えて、最終の完成版としてまとめさせていただきますまして、早ければ来週の定例教育委員会には完成版を一旦このまとめとして報告をさせていただいて、よろしければ、うちはホームページで掲載をさせていただきたいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教育次長</p>	<p>わかりました。ありがとうございました。</p> <p>では、教育懇談会のまとめについては、よろしいでしょうか。</p> <p>教育懇談会については、大体了解しました。</p> <p>そのほか何か御意見、質問などありませんか。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>これは、回答を一応それぞれの項目について出しているわけですが、その中で、やはり現地を確認してとか、今後また検討を重ねていくとか、そういった項目も結構ありますので、今日いろいろ御意見をいただきました内容を踏まえまして、さらにまた検討をしなければいけない部分もありますので、そういった基本的状況等も踏まえて、さらに検討のほうも進めていくし、また、対応できるものについては、早急に対応できるように取り組んでまいりたいというふうに考えております。</p> <p>ありがとうございます。何かちょっとほっとしました。いい意見をせっかくいただいて、どこかできちんとお返ししなければいけないと思っていたので、ありがとうございます。</p> <p>そのほか何かありませんか。</p> <p>それでは、本日の臨時教育委員会を終了いたします。皆様、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後4時30分</p>